

○「マルチニツク」嶋「プレー」山噴火ノ際ニ於ケル地磁力ノ變動

左ニ録スルハ米國「ワシントン」府「パウエル」氏ガ「テレス」トリアル、マグネチスム」ト稱スル雜誌ニ掲載セラレタルモノナルガ本會ノ調査事業ナル地震ト地磁氣トノ關係、并ニ火山ノ研究ニ關シ有益ナル報文ナレバ譯シテ參考ニ供ス

委員 理學博士 大森房吉

千九百〇二年五月八日午前十一時五十九分(英國「グリーニツク」平均時)ヨリ地磁力變動起リタルガ「コーリスト、エンド、」ジラデチツク、サーバー」局ノ設置ニ係ル「メリーランド州」「セルテンハム」并ニ「カンサス」州「ボールドウイン」ナル二個所ノ地磁氣觀測所ニ於テ同時ニ始マリタリ、今「マルチニツク」嶋「プレー」山ノ時刻ハ英國「グリーニツク」ノ時刻ヨリハ四時四分六秒ノ後レナレバ此地磁氣變動ハ「サン、ビエール」府ノ地方平均時ニ改算シテ午前七時五十四分ニ發セルコト、ナル、而シテ諸新聞紙ノ報ズル所ニ依レバ「プレー」山最初ノ破裂ハ五月八日午前八時頃ニシテ「サン、ビエール」市ノ大時計モ午前七時五十分ニ止マリ居ルヲ發見セリト云フ  
「ホノルル」、「トロント」、「ストニーハースト」(英國)、「パルジョエー」(佛國)、「ポツダム」(獨逸)、「ポーラ」(奧地利)、等

ノ諸地磁氣觀測所ヨリノ報告ニ徴スルニ此ノ地磁氣變動ハ供通ノ現象ニシテ各處トモ實際同時刻ニ發起シ主トシテ異變ヲ呈シタルハ水平分力ナリ

四月十日ト五月八日トノ間ニモ數回ノ特殊ナル地磁氣變動アリタルガ水平分力、偏位及ビ上下分力トヲ通ジテ何レモ本回、即チ五月八日ノ變動ニ酷似セリ、又「プレー」山數回ノ破裂中ニ大小ノ地磁氣變動數回アリタルガ其ノ一ハ五月廿日ノ第二回破裂ト判然一致セリ、但シ其ノ變動ノ大サハ五月八日ノモノニハ及バザリキ

五月十八日「グアテマラ」國地震ノ爲ニ生ゼル變動ハ上記ノ諸觀測所ニ於テ何レモ記録セラレタリ(此ノ地震ハ頗ル大ナルモノニシテ東京、大阪并ニ歐米諸地ノ地震器械ハ何レモ明瞭ニ記象ヲ與ヘタリ(大森))

此等ノ地變ニ關スル詳細ナル報告ハ後日ニ讓ルベキガ、「コー」スト、エンド、ジラデチツク、サーバー」局長「チツトマン」氏ヨリ各處ノ地磁氣觀測所ニ照會シタル結果、既ニ數ヶ所ヨリ磁力計記象紙ヲ送附シ來レリ、爰ニ附セル圖ハ「セル」テンハム「地磁氣觀測所ニ裝置ノ「アデイー」式磁力計ガ與ヘタル記録ニシテ原物ヲ約四分一ニ縮寫シタリ五月八日ノ變動中、水平分力ノ急激ナル變化ハ殊ニ著ルシキヲ見ルベシ

